

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	総務市民局安全・安心推進部 安全・安心推進課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立交通安全センター	施設類型	目的・機能
			I	— ⑤
	所 在 地	小倉北区井堀五丁目1番1号		
	設置目的	交通安全に関する知識の普及及び交通安全思想の高揚を図ること。		
利用料金制		☐ 非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ ☐ 無	ペナルティ制	有・ ☐ 無
指定管理者	名 称	NPO法人 I-DO		
	所 在 地	小倉北区浅野二丁目14番2号		
指定管理業務の内容		1 交通安全センターの維持管理 2 交通安全センターに配置する自転車の貸出し等 3 自動車、自転車車庫の維持管理 4 施設内における警備、監視 5 施設内の展示物、備品等の管理 6 施設内における交通安全教室の開催 7 施設外（保育園、幼稚園、小学校等）における交通安全教室の開催 8 施設の特徴を生かした交通安全イベントの実施		
指定期間		平成31年4月1日～令和7年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント																											
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み																											
(1) 施設の設置目的の達成																											
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。																											
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。																											
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。																											
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。																											
【所 見】 ①令和6年度の事業は計画通り実施され、参加者や関係者等から高い評価を受けている。 ◇自転車運転免許講習会 小学校高学年に多い自転車の交通事故に着目し、安全な自転車の乗り方や交通ルール・自転車マナーについての講習会を実施。受講後、学科と実技の試験合格者に運転免許証を交付するもので、小学生のうちから交通安全への関心を高め、社会ルールを守る意識を育むことを目的としている。 市や警察など各関係機関と連携し、主に小学校高学年を対象に実施した。 【自転車運転免許証交付者数】 (単位：人) <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="padding: 5px;">Ⅲ期 (更新前)</th> <th colspan="6" style="padding: 5px;">Ⅳ期</th> </tr> <tr> <th style="padding: 5px;">【参考】 H30</th> <th style="padding: 5px;">R 元</th> <th style="padding: 5px;">R2</th> <th style="padding: 5px;">R3</th> <th style="padding: 5px;">R4</th> <th style="padding: 5px;">R5</th> <th style="padding: 5px;">R6</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">103</td> <td style="padding: 5px;">133</td> <td style="padding: 5px;">62</td> <td style="padding: 5px;">108</td> <td style="padding: 5px;">109</td> <td style="padding: 5px;">95</td> <td style="padding: 5px;">105</td> </tr> </table> * …… 評価対象年度							Ⅲ期 (更新前)	Ⅳ期						【参考】 H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	103	133	62	108	109	95	105
Ⅲ期 (更新前)	Ⅳ期																										
【参考】 H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6																					
103	133	62	108	109	95	105																					
◇高齢者運転シミュレーター体験教室 高齢者運転シミュレーターを体験することで、現在の身体機能や認知機能の状態を確認できる。実際に運転する際の注意事項を確認してもらい、今後の安全運転の継続や、場合によっては運転免許返納について考えるきっかけなどに役立ててもらうことを目的とする。																											

【高齢者運転シミュレーター体験教室参加者数】（単位：人）

Ⅲ期 （更新前）	Ⅳ期					
H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
11	58	15	18	12	9	18

* ・・・評価対象年度

◇各種交通安全教室の開催

一般来園者や小学校等の団体に対して、正しい交通ルールや自転車の乗り方などの指導を行う交通安全教室を開催した。

また、新規の取組で「シニア自転車教室」を開始し、免許返納等での移動手段として自転車利用を始める高齢者への安全対策を強化した。

園内教室

○幼稚園・保育所など幼児団体を対象としたもの

- ・手品や交通安全クイズ、パネル教材を使用した楽しくわかりやすい交通安全講話
- ・園内の道路で、横断歩道や信号に従いながらの歩行や自転車の安全運転の実技指導

○小学校や外国人技能実習生を対象としたもの

- ・自転車事故の被害者となりやすい児童、または、自転車通学等を行う外国人技能実習生に対して、警察署と連携し自転車の運転技術習得と運転手としての交通ルールマナーの意識向上を推進

○放課後等デイサービスを対象とした交通安全教育の推進

○高齢者等の団体を対象としたもの

- ・「シニア自転車教室」を新規で実施
- ・高齢者の交通安全教室を実施

○中学生、高校生、大学生を対象としたもの

- ・自転車通学者への安全指導
- ・電動キックボードの安全利用講習（16才以上）を警察署と連携し実施

○各種イベントの開催

- ・交通安全映画を上映会するなど家族で楽しめる交通安全教室を開催
- ・年間を通じて交通公園を利用してもらうため、季節に応じたイベントを企画し実施

園外教室

○幼稚園・保育所・小学校低学年・特別支援学校を対象としたもの

- ・模擬信号機と横断マットを使用し、正しい横断歩道の渡り方を指導
- ・小学校低学年に道路への飛び出しの危険性を知ってもらうため、車とダミー人形を使った衝撃実験を実施

○小学校高学年の自転車教室

- ・自転車安全利用五則に沿った交通ルールや自転車運転者としてのマナーをパネルやパワーポイントなどにより指導
- ・実際に自転車に乗り、安全確認や正しいブレーキ操作等を実技指導

○高齢者を対象としたもの

- ・地域住民による高齢者の交通安全促進活動に積極的に参加し、歩行中の交通事故防止、安全運転への意識付けの指導を行った

○その他の交通安全教室等

- ・市民センターや区役所、警察署主催で保育施設職員や、教員、企業等の指導者や保護者向けの交通安全講習や啓発を行った

【交通安全教室の開催回数】

区分		Ⅲ期 (更新前)	Ⅳ期					
		H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
目標(回)		520	560	560	560	560	560	560
実績	園内教室(回)	402	372	132	210	391	378	390
	園外教室(回)	181	177	80	119	168	180	171
	計(回)	583	549	212	329	559	558	561
達成率(%)		112.1	98.0	37.9	58.8	99.8	99.6	100.1

* ・・・評価対象年度

- ② 入園者数は、前年度と比較して 14,040 人増加したが、目標値は下回った。(達成率 93.9%)

入園者の増加については、自転車教室の参加形態の見直しや、自転車貸出しの利便性を高めるための改善を行ったことが要因と考えられる。

一般来園者を対象としては、家族で楽しみながら学習できるイベントの定期的な開催や、対象者に応じた専門性・学習性の高い交通安全教室を多く行った。

団体利用者に対しては、警察署と協働した自転車安全講習や、電動キックボードの安全利用講習を実施するなど、多様化する利用者のニーズを適切に受け入れた。

【交通公園入園者数等】

区分		Ⅲ期 (更新前)	Ⅳ期					
		H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
目標(人)		200, 000	227, 082	227, 082	227, 082	227, 082	227, 082	227, 082
実績	入園者(人)	231, 433	221, 740	125, 501	119, 694	165, 621	189, 176	203, 216
	園外教室 受講者(人)	14, 379	12, 930	4, 560	6, 989	12, 594	11, 539	10, 053
	計(人)	245, 812	234, 670	130, 061	126, 683	178, 215	200, 715	213, 269
達成率(%)		122. 9	103. 3	57. 3	55. 8	78. 5	88. 4	93. 9

* . . . 評価対象年度

【自転車の貸出し台数】

区分		Ⅲ期 (更新前)	Ⅳ期					
		H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
目標（台）		100, 800	107, 367	107, 367	107, 367	107, 367	107, 367	107, 367
実績	自転車貸出 数(台)	109, 072	107, 305	66, 361	62, 798	86, 406	97, 061	105, 429
	(1 日あたり)	(359)	(388)	(256)	(285)	(292)	(322)	(350)
達成率 (%)		108. 2	99. 9	61. 8	58. 5	80. 5	90. 4	98. 2

* . . . 評価対象年度

【開園日数】 荒天率：開園日のうち、降雨、積雪日数の割合

区分	Ⅲ期 (更新前)	Ⅳ期					
	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
荒天率 (%)	22.7	19.2	22.0	18.6	18.6	26.6	21.6
開園日数	304	276	259	220	296	301	301

* . . . 評価対象年度

③該当なし

④広報活動については、「市政だより」への掲載をはじめ、ホームページにおいて、施設案内や、「交通公園だより」デジタル版（毎月発行）の掲載を行い積極的に情報提供している。また、Instagramではイベントや雨天時の自転車貸出情報等を配信し、利用者がリアルタイムで情報収集出来るようにしている。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

[所 見]

①利用者アンケートの結果（回答数300名/年）

「指導員の対応」では、非常に満足（66.0%）、満足（33.3%）を併せて99.3%、「今後も利用したいか」では、利用したいが98.6%と非常に高い水準である。

（アンケート結果：指導員の対応について）

区分	Ⅲ期 (更新前)	Ⅳ期					
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
非常に満足	55.1%	54.3%	41.4%	64.7%	58.5%	63.9%	66.0%
満足	44.9%	44.5%	57.7%	33.9%	40.9%	34.8%	33.3%
不満	0%	1.2%	0.9%	1.4%	0.7%	1.4%	0.7%

* ・・・評価対象年度

（アンケート結果：今後の利用について）

区分	Ⅲ期 (更新前)	Ⅳ期					
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
利用したい	98.3%	100%	98.6%	98.9%	98.5%	97.6%	98.6%
どちらとも言えない	1.7%	0%	1.4%	1.1%	1.1%	2.1%	1.0%
利用したくない	0%	0%	0%	0%	0.4%	0.4%	0.4%

* ・・・評価対象年度

- ②③市民からの意見や苦情を的確に把握しサービス向上に反映させるため、園内に「ご意見箱」を設置している。職員が直接受けた苦情等にも適切に対応している。
- ④広報活動については、市政だよりへの掲載をはじめ、ホームページにおいて施設案内や「交通公園だよりデジタル版（毎月発行）」の掲載を行い、積極的に情報提供している。また、Instagramではイベントや雨天時の自転車貸出情報等を配信し、利用者がリアルタイムで情報収集出来るようにしている。
- ⑤職員の指導力等の向上を図るため、福岡県主催の自転車安全教育指導者研修会への参

加や各種交通安全シミュレーター等の定期的な指導者向け研修の実施を行っている。
その他、警察署主催の学童クラブ指導員交通安全研修会へも参加している。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所 見]

- ①③来園者の多い土・日・祝日には園内の人員を多く配置し、来園者の少ない平日には園外で交通安全教室を行い、効率的な人員配置となるような運営に努めている。
- ②清掃・警備・設備保守業務では、類似業務の一括発注などにより経費削減に努め、適切な水準で実施されている。

指定管理業務の収支

(単位：千円 (※除く))

区分	Ⅲ期 (更新前)	Ⅳ期					
		R 元	R2	R3	R4	R5	R6
年度	H30						
収入(指定管理料)	27,573	27,767	27,881	27,881	27,881	27,881	28,630
支出(事業費)	27,113	26,951	26,919	25,928	27,841	26,740	26,182
事業費のうち人件費	20,543	20,532	21,095	19,907	21,920	21,016	19,840
事業費のうち委託料	1,599	1,577	1,488	1,539	1,409	1,388	1,403
光熱水費	1,177	1,008	896	829	784	714	1,121
その他事業費	3,794	3,834	3,440	3,653	3,728	3,622	3,818
※入園者 1 人当たりの実質事業費	117 円	122 円	215 円	217 円	156 円	133 円	123 円
収支(繰越)	460	816	961	1,953	41	1,141	2,448

* . . . 評価対象年度

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

[評価の理由、要因・原因分析]

該当なし

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

【所 見】

- ① 来園者の多い土・日・祝日には園内の人員を多く配置し、来園者の少ない平日には園外で交通安全教室を行い、効率的な人員配置となるような運営に努めている。
土・日・祝日で特に来園者が多い場合は、総員で自転車の乗り方指導や見回りを行うなど、柔軟な対応をしている。
- ② 職員の指導力等の向上を図るため、福岡県主催の自転車安全教育指導者研修会への参加や各種交通安全シミュレーター等の定期的な指導者向け研修の実施を行っている。
その他、警察署主催の学童クラブ指導員交通安全研修会へも参加している。
- ③ 交通安全の要である警察と密接に連携し、イベントや交通安全教室を行った。
多くの保育園、幼稚園、小学校に赴き協働して児童に必要な内容の交通安全教室を行った。
市民センター、区役所、警察署と協働し、保育施設職員や教員、企業等の指導者や保護者向けの交通安全講習や啓発を行った。地域住民による高齢者の交通安全促進活動にも積極的に参加した。

（２）平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所 見】

- ① 利用申込書等から得た個人情報は、施錠可能なキャビネット等に確実に収納し、原則として事務室からの持ち出しを禁止している。
- ② 申込みの受付は先着順とし、平等な利用に配慮している。
- ③ 該当なし
- ④ 収支内容を確認したところ、不必要な支出等不適切な点は認められない。
- ⑤ 園内の施設・設備等について、毎日、目視等による安全点検を実施し、園内の事故防止に努めている。
- ⑥ 事務室に緊急連絡先を掲示し、緊急時の対応を職員に徹底している。
- ⑦ 子どもが怪我をした場合や災害などが発生した場合のマニュアルを作成し、職員に周知させている。

【総合評価】

〔所 見〕

- 1 市民が正しい交通ルールや交通に関する知識を身につけるため、警察とも連携し、交通安全教室や自転車の乗り方指導などを行った。また、家族で楽しみながら学習できるようなイベント等を創意工夫して行うなど、効果的な活動がなされた。
- 2 多岐にわたる受講者への講習や指導を、それぞれのニーズや社会傾向に合わせ、実技や模擬体験により実施している。特に自転車においては、段階に応じたきめ細やかな講習を行っている。
- 3 高齢者に対しては、歩行中の交通事故防止や高齢者運転シミュレーターを活用した安全運転の意識付けを目的とした指導を行い、その他シニア自転車教室を新規で始めるなど力を入れている。
- 4 ホームページや市政だよりを活用し基本的な広報を行い、Instagramによる情報発信では利用者がリアルタイムで情報収集出来るよう利便性の向上を図り、施設の利用増に努めた。
- 5 利用者アンケートでは、指導員の対応、自転車の手入れの安全性、今後の利用についての全てに高評価を得ている。